

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

1

カード名	制約	コメント
証人喚問	キーマンが拘束されました。前回カードが選ばれた人は行動不能。初回ターンの場合や前回不明時は、インシデントコマンダーの右隣の人。	キーマンは取り合いになります 窓口役を決めてコミュニケーションマネジメントをしましょう ※システム障害対応の教科書3章 インシデントコマンダー

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

2

カード名	制約	コメント
無理難題	方針変更は突然に。インシデントコマンダーは目指す役を変更してください	CI0からの復旧要件は「すぐ直せ」 正しい判断をいただくには正しい情報と説明を。BCP基準なども参考にしましょう。 ※システム障害対応の教科書3章 インシデントコマンダー・CI0

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

3

カード名	制約	コメント
ドキュメント不備	対策手順の再確認が必要です。作業員はカードを山に戻し引き直します。	実績の無い手順書や、メンテナンス不備が疑われる場合には、事前に検証しましょう。 ※システム障害対応の教科書4章 復旧対応、11章 手順書管理

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

4

カード名	制約	コメント
曖昧な報告	作業員はカードを伏せて だしてください。但し、 形容詞で出したものを 表現することが可能です。	大丈夫。もうすぐ。瞬断等曖昧な報告 は認識相違のもと 定量的な数値や5W1Hを意識し具体的な 用語を使用しましょう。 ※システム障害対応の教科書3章イン シデントコマンダー、5章 障害状況 ボード

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

5

カード名	制約	コメント
ポテンヒット	誰が何をしたのかわからず大混乱です。カードを伏せた状態でだしてください。さらにそれをシャッフルしてください	それは、あのチームが。え？うちですか？ 誰が何をしたのか記録し状況の共有しながら対応を進めましょう。 ※システム障害対応の教科書5章 障害状況ボード

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

6

カード名	制約	コメント
グロッキー	マンパワーの限界です。ハートのカードを使用することができません	長丁場になる場合はローテーション体制を組みましょう ※システム障害対応の教科書3章 兵站

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

7

カード名	制約	コメント
形骸化したプロセス	フローの存在すら誰も知りませんでした。クローバーを使用することができません	定期的に棚卸しステークホルダーと認識をあわせましょう。訓練で確認を行うことも推奨です。 ※システム障害対応の教科書 8章 教育と訓練 、10章 訓練の手引き

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

8

カード名	制約	コメント
非機能設計無し	大量メッセージでモニタリングはハング！スピードを使用することができません。	システムは動かすことで価値を生む。 動かすための機能を作る。 非機能設計と運用テスト。そしてビジネスとシステムの変化にあわせて常に見直していきましょう ※システム障害対応の教科書4章 イベントの確認、6章オブザーバビリティ、7章マイクロサービスにおける非機能要件

Sランカーカード
印刷して1セットずつ各グループに配置します
カードは切って、伏せておいてください

9

カード名	制約	コメント
ア・モーレ	作業漏れ連絡漏れ確認 漏れ ダイヤを使用することが出来ません。	網羅性をもって確認できる手段を整備 し実施しましょう。 ※システム障害対応の教科書 4章業 務影響調査、原因調査